

2021 年度事業活動計画

I. はじめに

「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」(ネット 2 1 運動)は、個別企業の労使では解決がむずかしい、地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域の N P O や市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと中央労働金庫やこくみん共済 coop、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

2021 年度も、連合埼玉・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福協をはじめ、地域で活動する N P O とも連携・協働して、以下の事業活動を進めていきます。

なお、事業活動計画の展開にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、適宜判断していきます。

1. ライフサポート・プログラム

- ・出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催
- ・生活困窮者等への支援

2. ボランティアサポート・プログラム

- ・「シニア人財バンク」の活動
- ・自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業(尾瀬、ときがわ)

3. N P O サポート・プログラム

- ・ N P O 支援事業
「 N P O 応援・物品助成プログラム」「 N P O 応援・少額(物品等)助成プログラム」
の実施
- ・ N P O 活動への理解と具体的な参加をサポートするセミナーの開催

4. 「ネット 2 1 運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

5. 特別事業としての東日本大震災に関する被災者・避難者支援活動

II. 基本事業活動計画

1. ライフサポート・プログラム

(1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

出前方式(講師の派遣)で開催する「勤労者の生活・暮らしに役立つ各種セミナー」は連合埼玉の構成組織・加盟組合や地域労福協、埼玉シニア連合、労働者福祉事業団体など各組織で開催されるようになってきました。要望等に応じてセミナープログラムの拡充なども行い、各組織・団体での更なる利用促進をはかっていきます。

- ① 連合埼玉構成組織・加盟組合・地域協議会、地域労福協、労働者福祉事業団体、各 O B 組織、埼玉シニア連合、等での利用促進。
- ② 「ライフサポートステーション・ネット 2 1(久喜・川越・熊谷・大宮)」と連携した「暮らし応援セミナー」の開催
- ③ 「暮らし応援セミナー」プログラムの拡充(要望に対応できる講師の選定)と講師陣リストの作成

(2) 生活困窮者等への支援

勤労者のライフサポート（生活・暮らしサポート）の観点から、生活困窮者等への支援に取り組む団体等と連携し、必要な支援を行っていきます。本年度は、これまで継続して実施してきたNPO法人フードバンク埼玉を通じた生活困窮者への支援とあわせ、連合埼玉主催の埼玉大学在学学生を対象とした「“コロナに負けるな！”生活応援EVENT～フードパントリー～」に対して支援をおこなっていきます。

2. ボランティアサポート・プログラム

(1) 「シニア人財バンク」の活動

「シニア人財バンク」は、自分の特技や趣味を活かし、ボランティア活動などを通じて地域社会に「貢献したい、参加したい」と思っている50才以上の方に登録してもらい、登録者（名簿上登録者50名）にはボランティア活動やNPO活動などを紹介・案内する制度です。

- ①シニアのためのセミナーの開催やセミナーと連携した「シニア人財バンク」への登録、登録者への情報提供を実施します。なお、運営については、さいたまNPOセンターと連携して行います。
- ②今後の「シニア人財バンク」のあり方などを検討します。

(2) 自然環境ボランティア促進、自然環境体験事業

①「夏休み親子・ファミリー自然体験プラン in 尾瀬」

夏休み・親子をキーワードとしつつも、夫婦などファミリーも対象とする自然環境体験、ボランティア活動（ゴミ拾い）などを企画していきます。今年度は、原点に立ち返り、尾瀬国立公園内の山小屋に宿泊し、親子・夫婦・家族で昼夜を問わず自然体験をしていただく企画を立案します。（計10家族程度 *スタッフ除く）

実施予定日【8月】

②NPO法人ときがわ山里文化研究所と連携した自然体験の実施

「NPO応援・物品助成プログラム」の助成団体のひとつである「ときがわ山里文化研究所」と「ネット21運動」との連携・協働で実施する事業として、夏休み親子自然体験教室「山の学校 in ときがわ」を一般と避難者の参加による単日開催で実施します。

実施予定日【8月】

3. NPOサポート・プログラム

(1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援と連携を目的とする物品等助成事業

①NPO応援・物品助成プログラム（パソコン寄贈：推薦・応募方式）

②NPO応援・少額（物品等）助成プログラム

（NPO、施設などへの少額物品等の寄贈：推薦方式）

構成団体、地協・地域労福協、地域事務所、さいたまNPOセンター等の推薦を基本とします。

(2) パソコン寄贈団体への訪問・意見交換

2020年度寄贈15団体に対し、パソコンの活用方法や団体の主な活動について意見交換を実施し、活動の相互理解と連携をはかっていきます。

(3) NPO活動への理解と具体的な参加（社会参加）をサポートする事業

2018年度から2019年度にかけて、「社会連帯」「共生社会」の実現に向けて、NPOと労働組合が地域で連携を深めることを目的に、「地域セミナー」を東西南北の4地域に分けて開催してきました。このセミナーを通じて、NPOと労働組合の協力関係が新規にはかれたことや継続開催を望む声などが寄せられたことを踏まえて、2020年度も南部・西部地域で「さいたまNPOセンター」との協働事業として、「地域セミナー」を企画・実施しました。今年度は、東部地域と北部地域で開催します。

実施予定日【東部地域 10月、北部地域 10月】

4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

(1) 「ワンコイン（500円）運動」の展開による、「ネット21運動」と「ボランティア・カード」の普及拡大に取り組みます。

- ①各組織・団体での年間を通しての勉強会・説明会の促進
- ②NPOや外部団体等への「ボランティア・カード」の積極的な展開
- ③ネット21事務所利用者に対する「ネット21運動」のPR

(2) 「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充

県内を中心に、飲食店やレジャー、福祉サービスなどを提供する企業・団体との契約拡大に努めていきます。また、地域により協賛企業に偏りがあることから、組合役員による情報提供などのシステムを構築します。

(3) 「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化

- ①見やすい、わかりやすいHP、タイムリーな情報アップ
(契約企業のサービス情報、活動紹介・パソコン贈呈の公募、活動報告、等)
- ②「埼玉労福協だより」、「マンスリー」等による「ネット21運動」の紹介
- ③「暮らし応援セミナー」参加者へのPR活動

5. 特別事業：東日本大震災に関係する被災者・避難者支援活動

2013年度より「ネット21運動」の特別事業として、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに、山の学校 in ときがわ、ママランチ会等を実施しており、本年度も特別事業として実施していきます。

(1) 夏休み親子自然体験教室「山の学校 in ときがわ」

実施予定日【8月】

(2) 子育て支援「ママランチ会」

実施予定日【7月、11月】

(3) バーベキューファミリー交流会 in サイボクハム

実施予定日【10月】

以 上